

ワクチン接種補助制度 新旧比較ガイド

2025年度

インフルエンザ予防接種補助



注射ワクチン：
1回につき最大2,500円
13歳未満は年度内2回まで、13歳
以上は年度内1回まで補助されます。



経鼻ワクチン：
1回につき最大5,000円
対象は2歳～19歳未満で、年度内
1回のみ補助されます。

新型コロナワクチン補助



対象ワクチン：新型コロナワクチンのみ

補助率：費用の7割 (診察・検査費除く)



補助上限額：10,000円

利用回数：年度内1回



2026年度

インフルエンザ予防接種補助

✓インフルエンザ補助は変更なし
2025年度と2026年度で制度の内容は変わりません。

**対象
拡大**



ワクチン接種補助（インフルエンザ以外）

従来は新型コロナワクチンが対象でしたが、HPVワクチン、帯状疱疹ワクチンなども補助対象に含まれます。

補助率：費用の7割
(診察・検査費除く)



補助上限額：10,000円



利用回数：年度内1種類 (複数回接種は合計額で計算)
複数回接種が必要な種類 (例：HPVなど) については、
その合計額を補助対象として計算します。



共通の申請ルール



申請方法：健康ポータルサイト「Pep Up」から申請
被保険者が扶養家族分もまとめて申請します。
領収書（原本）の郵送は不要ですが、画像の添付が必要です。



領収書の記載要件に注意

- ・接種者氏名（フルネーム）・接種したワクチン名
- ・金額・接種日・医療機関名が記載されてあること



ワクチン接種補助制度 Q&A

Q

A

1 今回から補助の対象となるワクチンは何ですか？

インフルエンザワクチンに加え、新型コロナウイルス、HPVワクチン、帯状疱疹ワクチンなど日本で承認されているワクチンが補助の対象となります。

ご参考：[厚生労働省ホームページ](#) [予防接種・ワクチン情報](#)

2 家族が接種した場合も補助の対象ですか？

はい。接種日時点においてT0T0健康保険組合に加入している被保険者および被扶養者が対象です。

3 自治体の公費助成（定期接種）を受けている場合も対象になりますか？

定期接種の方も任意接種の方も対象となります。
※ただし、公費で全額無料となり実費負担がない場合は対象外です。

4 HPVワクチンや帯状疱疹ワクチンなど、間隔をあけて複数回接種するワクチンの申請はどうすればよいですか？

複数回分の領収書をお手元で保管し、まとめて1回で申請してください。合計額に対して7割の補助（上限10,000円）となります。1年度につき、申請できるのは「1回」です。年度（4月～翌年3月）をまたいで複数回接種する場合は、「接種した年度ごと」に分けて申請してください。（例：1回目を3月、2回目を5月に接種した場合は、それぞれの年度で1回ずつ申請が必要です）

ワクチン接種補助制度 Q&A

Q

A

5 インフルエンザの予防接種で補助をすでにもらった場合も、帯状疱疹ワクチンを接種した場合は補助申請できますか？

インフルエンザとは別に、その他のワクチン1種類について補助申請できます。例えば、インフルエンザと肺炎球菌ワクチン、インフルエンザと帯状疱疹ワクチンのパターンについて、1年度内に両方の補助申請ができますが、肺炎球菌ワクチンと帯状疱疹ワクチンのパターンについては、両方の補助申請はできません。どちらか一方のみ申請ください。

6 インフルエンザワクチンの補助額はどれくらいですか？

インフルエンザワクチンは現行通りです。注射ワクチンは1回につき2,500円まで、経鼻ワクチン（2～19歳未満）は1回につき5,000円までを実費の範囲内で補助します。

7 健保扶養している子供について、おたふくかぜワクチンを接種した場合は、補助の対象になりますか？

健保扶養しているご家族は補助の対象となります。

8 申請はどのように行えばよいですか？

被保険者ご本人様が、健康ポータルサイト「Pep Up」の「各種申請」メニューから、ご家族分も含めて申請を行ってください。領収書（原本）の健保への送付は不要です。※「Pep Up」の申請メニューは2026年5月上旬にオープン予定です。

9 領収書には何の記載が必要ですか？

接種を受けたワクチンの名称、接種者の氏名（フルネーム）、接種日、接種費用、医療機関名の記載が必要です。ワクチンの記載が明細書にある場合は、「領収書と明細書」両方の画像を添付してください。